

1 食をめぐる現状

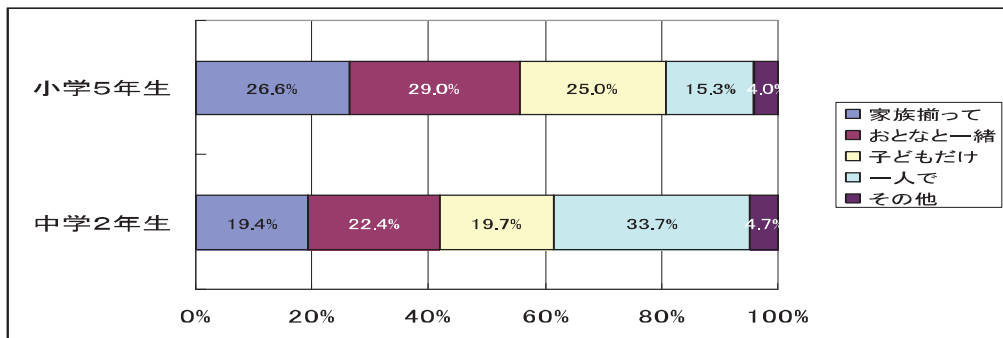
(1) 児童生徒をめぐる健康に関する状況

子どもたちが豊かな人間性をはぐくみ、生きる力を身に付けていくためには、食は重要です。しかし、近年、社会経済構造の変化や国民の価値観の多様化を背景に、個人の好みに合わせた食生活スタイルへと食の多様化が進展してきました。その結果、脂質の過剰摂取や野菜の摂取不足等の栄養の偏り、朝食の欠食など食習慣の乱れによる肥満や生活習慣病の増加等の問題が引き起こされています。食を起因とする問題は短期間にすべてを解決することは困難であり、食育として粘り強く取り組むことが重要です。

児童生徒については、依然として朝食の欠食がみられ、一人で食べることも少ない状況にあります。また、生活時間の多様化とも相まって家族と一緒に食卓を囲む機会も減少傾向にあり、食にかかわる人々や活動について理解することや体験することも少なくなっています。〈グラフ1〉

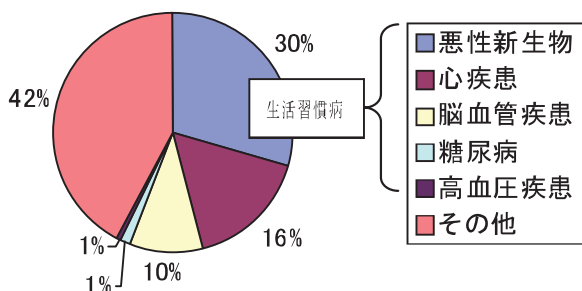
一方で日本人の平均寿命は世界でもトップクラスですが、平均寿命と健康寿命には7年の差があるといわれています。今後は、人口の減少とともに高齢化社会となり、いかに元気に暮らし続けることができるかが課題となっています。また、国民的課題でもある生活習慣病の現状については、死因の約6割、国民医療費の約3割を占めています。〈グラフ2〉

〈グラフ1〉■朝食における家族との食事の状況(平成22年度児童生徒の食事状況等調査結果より)

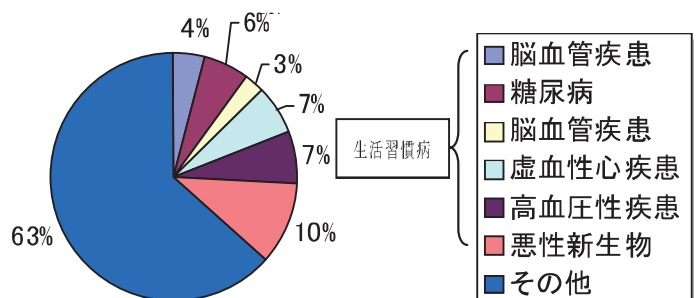


〈グラフ2〉

死因別死亡割合(平成22年)



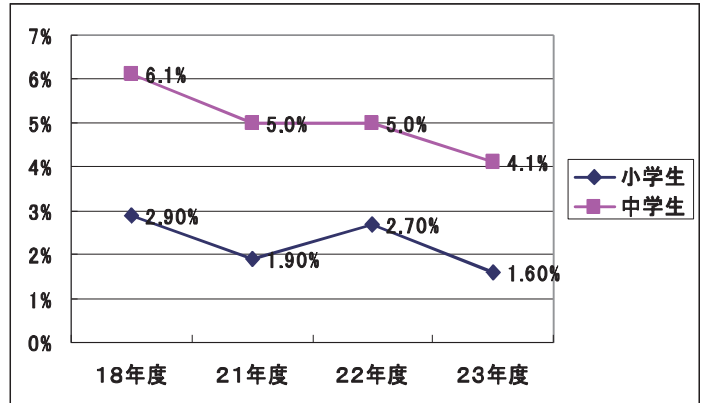
一般診療医療費(平成21年度)



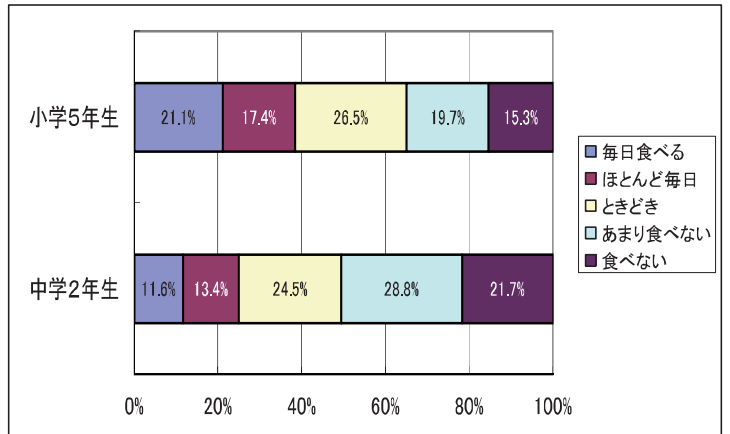
本県では、児童生徒の食生活の実態や各学校での食に関する指導の実際、学校給食に関する実態などを計画的に調査することにより、県内の様々な状況を把握して施策の検討などに反映させています。

特に、朝食の実態では、朝食の欠食率は改善が図られる傾向にあり〈グラフ3〉野菜を食べている割合は小学生より中学生が低く、半数程度となっています。〈グラフ4〉また、朝食での野菜摂取状況と栄養バランスに対する意識の関係では、野菜を食べている割合が高い者ほど、栄養バランスに対する意識が高い傾向が見られます。〈グラフ5〉朝食については、大切さとあわせて朝食の内容についても考えさせていくことが必要です。そのためには、子どもたちが食について計画的に学ぶことができるよう各学校において食に関する指導の全体計画を策定するとともに、指導体制を整えることが重要となります。

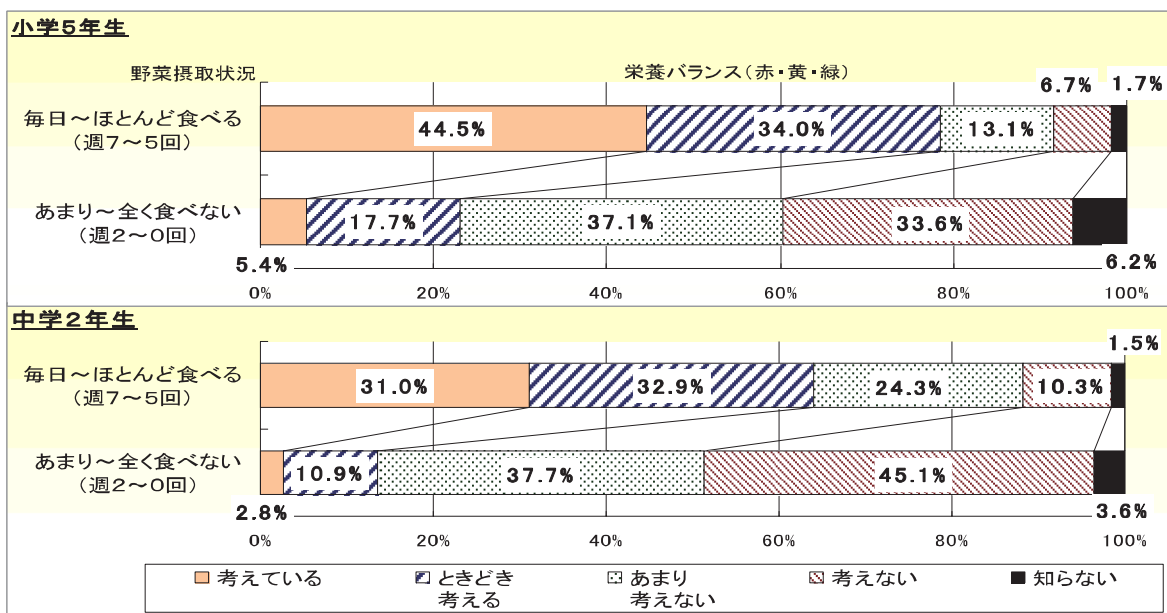
〈グラフ3〉 ■朝食の欠食割合



〈グラフ4〉 ■朝食で野菜を食べる割合



〈グラフ5〉 ■「朝食での野菜摂食状況」と「栄養バランスに対する意識」の関係



【平成23年度児童生徒の食生活調査結果より 愛知県教育委員会】